

教科の目標

- (1) 自分の考えを大切に、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高めるとともに、話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。
- (2) 自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を育てる。
- (3) 様々な種類の文章を読み内容を的確に理解する能力を高めるとともに、読書に親しみその見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

月	時	教材名	学習内容・指導事項	評価
4	3	野原はうたう 声を届ける	◎表現の特徴について、自分の考えをもつ。	読 作品の表現に関心をもち、進んで音読の練習に取り組もうとしている。 読 作品の表現の特徴や効果について、自分なりの考えをまとめている。 読 音量や抑揚などを工夫して音読している。 読 図書館の活用方法や、辞書・インターネットの調べ方について知ろうとしている。
	6	書き留める・本 と出会う	◎本やインターネットなどから必要な情報を集めるための方法を身につける。 ◎日常生活の中からテーマを決め、材料を集めながら自分の考えをまとめる。	読 目的や内容に応じて調べ方を工夫している 書 集めた情報を整理して記録している。 読 語彙に関心をもち、わからない語や注意したい語を調べている
1	情報聞き取り	◎情報を正確に聞き取り、要点を押さえてメモに取る。	読 情報を正確に聞き取り、要点を押さえてメモしている。 読 話の文脈の中で、語句の意味を的確に捉えている。	
	5	にじ見える橋	◎登場人物の心情を表す表現に着目して、作品の理解を深める。 ◎登場人物の行動から、その気持ちの変化を捉える。	読 学習の課題に沿って作品を読み、情景や登場人物の気持ちや想像しようとしている。 読 場面の展開を確かめながら、少年の気持ちを考え、その変化を捉えている。 読 登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。
2	言葉1	◎話し言葉と書き言葉の違いについて考え、それぞれの特徴を理解する。	読 例文を比較して、話し言葉と書き言葉の特徴を理解しようとしている。 読 話し言葉と書き言葉の違いを、それぞれの表現上の特徴などから理解している。	
	3	スピーチ	◎聞き手が知りたい情報を考えて、日常生活の中から交流を通して聞き手や思い込みに注意し、必要に応じて、質問しながら相手の話を聞く。 ◎取材した相手の人柄が伝わるように全体構成を考え、メモにまとめる。 ◎話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方に注意して、聞き手にわかるようにスピーチする。	読 取材したことの中から話題を適切に選択し、聞き手にわかるように話そうとしている。 読 取材したことをもとに話題を選び、聞き手にわかりやすいスピーチメモを作っている。それをもとに、話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方に注意して、スピーチしている。 読 聞き手にわかりやすい内容にするために、的確な言葉を選び、適切な音量でスピーチしている。
7	大根は大きな根?	◎身近なものについて説明された文章を読み、文章の中で使われている言葉の意味や内容を捉える。	読 身近な「野菜」について書かれた文章に関心をもち、段落ごとの内容を進んでまとめようとしている。	
	3	3時間	◎段落の役割に着目して文章を読み、内容をまとめる。	読 問題提起の段落や、根拠を述べている段落など、段落の役割の違いに気づいている。 読 段落の役割を考える際に、文と文、段落と段落を接続する語句に着目している。
2	書写	◎姿勢・筆記用具の持ち方	読 姿勢を正せる。	
	6	ちよっと立ち止まって	◎文章と図の関連や段落と段落の関係に注意して文章の構成を捉える。 ◎集めた材料をもとに、段落の役割を考えて文章を構成する。	読 図を使って説明された文章に興味をもち、文章と図を対応させて読もうとしている。 読 文章と図を対応させて読み、段落と段落の関係に注意しながら文章の構成を捉えている。 読 具体例を示して、読み手によりわかりやすい文章を書いている。
3	わかりやすく説明しよう	◎身近な生活の中から、伝える目的や相手を明確にして情報を集める。 ◎説明する観点を決めて情報を整理し、わかりやすい構成を考えて書く。	読 身近な生活の中から目的に合った情報を集め、観点を決めて整理してわかりやすい文章を書いている。 読 「お気に入りの場所」のよさを表す言葉を用いて、読み手が具体的にイメージできるように書いている。	
	6	書写	◎楷書と仮名を書く	読 楷書と仮名の調和がとれる。
1	スピーチ名人	◎自分の思いや考えをわかりやすく伝えるために、構成を整理し、聞き手を意識して話す。	読 例文を参考にして、30秒で伝わるスピーチをしようとしている。 読 例文の構成をもとに、自分の思いや考えを、聞き手に伝わるように話している。 読 相手が聞き取りやすい話し言葉や声の大きさを工夫している。	
	2	漢字1	◎漢字の組み立てと部首を理解する。	読 漢字の組み立てに関心をもち、部首をもとに既習の漢字を調べようとしている。 読 例の漢字をもとに、漢字の組み立てと部首について理解し、既習の漢字を調べている。
3	はじめての詩	◎文章を読んで、語句の意味を的確に捉え、筆者の文学の言葉に対する考え方に触れ、自分なりの考えをもつ。 ◎詩の表現の特徴に着目して読み、描かれている情景を想像する	読 興味をもって、詩を読もうとしている。 読 詩の表現から作者の思いに触れている。	
	2	言葉を集めよう	◎観点を決めて多くの言葉を集め、その言葉を使って日常生活を題材とした推薦文を書く。	読 それぞれの詩の形に着目しながら音読している。 読 自分の生活の中から観点を決めてできるだけ多くの言葉を集めようとしている。 読 例文の観点を参考にして、観点を決め多くの言葉を集めて、好きな食べ物を紹介する推薦文を書いている。 読 推薦文を書くために、観点に沿って必要な言葉を多く集めている。
9	2	文法の扉1	◎言葉の単位とその働きについて理解する。	読 言葉の決まりについて関心をもち、言葉の単位とその働きを理解しようとしている 読 教材文の読みから文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて整理した内容を理解している。
	4	おいしい読書・雪とパイナップル・江戸からの星の花が降る頃に	◎本から情報を集めるための方法を身につけ、目的に応じて必要な情報を読み取る。 ◎文脈の中で使われている語句の意味を捉え、情景を想像して登場人物の気持ちや行動、場面の展開や描写に注意して読み	読 読書教材に書かれているものを見方や考え方に関心をもち、読書紹介に生かそうとしている。 読 読書教材を、読書紹介することを意識して読んでいる。作品に書かれているもの見方や考え方を捉え、自分のもの見方や考え方を広げている。 読 作品の展開や登場人物の描写に興味をもって読もうとしている。 読 情景描写に着目し、登場人物の心情の変化を捉えている。 読 登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。
10	大人になれなかった弟たちに...	◎登場人物の行動や情景描写などに着目して読み、作者の思いを捉える。 ◎表現の特徴や、時代の描かれ方などに着目し、自分を見つめ、生き方を深めていくことの大切さを考える。	読 時代背景や人物の描写に関心をもちて読もうとしている。 読 情景や人物描写に着目して登場人物の心情を読み、作者の思いを捉えている。	
	2	言葉2	◎指示する語句と接続する語句の働きについて理解する。	読 繰り返しや「……」などの表現が、効果的に使われていることを理解している。 読 指示する語句と接続する語句の文中での働きを理解しようとしている。 読 指示する語句と接続する語句の働きについて理解している。
4	項目を整理して伝えよう	◎日常生活の中から課題を決め、伝える事柄・目的・相手に応じて、項目を立てて案内文を構成する。	読 事柄や目的に応じた項目を立てて、相手に伝わりやすい案内文を書こうとしている。 読 例文を参考に、項目ごとに整理し、相手に意識してわかりやすい案内文を書いている。 読 案内をする文章に特有の言葉や慣用表現の意味を捉えている。	
	5	シカの「落ち穂拾い」	◎記録の文章の構成に興味をもち、図表の役割に着目して、事実とそれに基づく筆者の考えを読み分ける。 ◎伝えたい事実や事柄について、具体的な記録として図表などを添えて、わかりやすく明確に書く。	読 動物の生態など内容に興味をもって読もうとしている。 読 図表と併せて文章を読み、論の展開を理解している。 読 文章と図表を関連させて書いている。 読 簡潔書きや小見出しに着目して読み、その効果について考えている。
1	流れを踏まえて話し合おう	◎話し合いの話題や方向を捉えて話したり聞いたりする。	読 話題や方向を捉えて発言しようとしている。 読 話題や方向を考え、流れを踏まえた話し合いとなるよう発言している。 読 適切な話し方を音声面からも工夫している。	
	6	書写	◎楷書と仮名を書く	読 楷書と仮名の調和がとれる。
11	1	音読を楽しもう	◎仮名遣いに注意して音読し、古文の言葉の響きや調子に読み慣れる。	読 「いろは歌」を読み、言葉のリズムに親しもうとしている。
	1	七夕に思う	◎七夕を題材にした和歌、随筆、俳句を読み、古典の世界に触れる。 ◎古典の和歌、随筆、俳句に触れ、さまざまな種類の作品がある	読 「いろは歌」の言葉の調子や間の取り方などを考えて音読している。 読 教材文を読み、古典の世界に関心をもちようとしている。
4	蓬萊の玉の枝	◎語句に注意しながら、現代の文章と古文とで異なる部分を確認し、古文の表現の特徴を知る。 ◎仮名遣いに注意し、古文のリズムを味わいながら音読し、古典の文章に読み慣れる。	読 古文特有のリズムを味わいながら古典の世界に触れて、季節の見方を広げている。 読 歴史的仮名遣いの言葉や現代語訳を参照して文脈の意味を捉えている。 読 古文を、興味・関心をもって繰り返し音読しようとしている。	
	2	今に生きる	◎故事成語の由来と意味を理解する。 ◎「矛盾」の故事を音読し、漢文独特の言い回しに読み慣れる	読 仮名遣いや文末の違いを理解し、現代では使われなくなった言葉にも気づいている。 読 故事成語の意味や由来に関心をもち、漢文の言い回しに読み慣れようとしている。 読 漢文独特の言い回しに注意して「矛盾」を音読し、現代語訳を参考に、故事成語の由来と意味を理解している。 読 例示されている故事成語の由来と意味を理解している。
2	故事成語を使おう	◎自分の生活を振り返り、故事成語を使って体験文を書く。	読 よく使われるわかりやすい故事成語を選び、調べようとしている。	

2	体験文		書 集めた中から、自分の体験と同じ意味をもつ故事成語を選び、体験文を書いている。 言 故事成語の由来と意味を理解して、体験文に生かしている。
6	書写	行書を書く	行書の筆遣いがわかる。 行書の字形がわかる。
5	バズセッション	◎バズセッションの方法と進め方を理解し、身近な課題について話題や議論の流れを捉えて話し合う。	読 日常生活から話題を探し、グループで話し合った内容を学級のみなどと交流しようとしている。 言 バズセッションの方法と進め方について理解し、話題を捉えて自分の考えを発言したり、話し合いの内容を報告したりしている。 言 話し手が用いる言葉の使い方の効果に気づき自分の発言に生かそうとしている。
2	文法への扉2	◎文節どうしの関係、連文節、文の組み立てについて理解する。	読 文の決まりに関心を持ち、文節どうしの関係などについて理解しようとしている。 言 文節どうしの関係、連文節、文の組み立てについて整理した内容を理解している。
7	流水とわたしたちの暮らし	◎伝えたい事実や事柄について、具体的な事例を根拠として取り上げて説得力のある文章を書く。	読 流水とわたしたちの暮らしとの関わりについて関心を持ち、筆者の考えを理解しながら読もうとしている。 読 文章と図表を関連させながら、文章の中心部分とそれを支える部分の関係を読み取り、筆者の意見を捉え、自分の考えをもっている。 言 身近な環境問題に対して関心を持ち、具体的に事実と取り組みを示して文章を書いている。 言 段落と段落をつなぐ語句に着目し、文章を要約している。
1	4	調べたことを報告しよう ◎日常生活の中から課題を探し、調べたことを工夫して整理する。(書(1)アイ) ◎自分の考えをわかりやすく伝えるために、書き方や構成を工夫する。	読 日常生活を振り返って話題を探し、構成を考えてレポートにまとめようとしている。 言 例文を参考にして、調べたことを整理し、構成を工夫して、レポートを書いている。 言 情報を的確に伝える言葉や構成に気づき、自分のレポートに取り入れている。
3	1	漢字2	◎漢字の音と訓について理解する。 読 漢字の音・訓に関心を持ち、漢字の理解を深めようとしている。 言 例文の漢字をもとに、漢字の音・訓について理解し、既習の漢字の音・訓について調べ、短い文を作っている。
	7	少年の日の思い出	◎場面展開や人物の描写に注意して作品を読み、登場人物の心情の移り変わりを捉える。 ◎文脈の中における語句の意味を正確に捉えて作品を読み、登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。 ◎主人公以外の人物の立場で作品を書き換え、互いに読んで感想や意見を交流する。 読 作品を読み、情景や登場人物の気持ちに関心に向けようとしている。 読 場面展開や人物の描写に注意しながら読み、登場人物の心情の移り変わりを捉え、人物のものの見方や考え方について、自分なりに考えている。 言 別の人物を選び、その人物の気持ちや考えを物語の流れに沿って書き換えている。
	2	言葉3	◎言葉の並べ方の工夫や比喩(たとえ)について理解する。 読 さまざまな表現の工夫について理解しようとしている。 言 言葉の並べ方の工夫や比喩について、それぞれの表現上の特質などを理解している。
	4	鑑賞文を書く	◎観点を決めて作品を鑑賞し、その魅力を伝える文章を書く。 読 観点を決めて作品を鑑賞し、根拠を明確にして、その魅力を伝える文章を書いている。 言 読み手に伝わるような鑑賞文にするために、印象や感動を表す言葉を探し、書いている。
	3	文法への扉3	◎単語の分類について理解する。 読 単語の性質について関心を持ち、単語の分類を理解しようとしている。 言 自立語と付属語、活用の有無、品詞、体言と用言について整理し、理解している。
	6	ポスターセッション	◎伝えたいことを、効果的な図表を入れたポスターにまとめて、互いに読み合い、自分の表現に生かす。 ◎日常生活の中から言葉について調べ、話の構成を工夫して話したり、発表を聞いたりする。 読 調べたことをポスターにまとめて、協力して発表に取り組もうとしている。 言 既習の言葉についての学習からテーマを探し、表やグラフなどを組み入れてポスターにまとめている。
2	漢字3	◎漢字の成り立ちについて理解する。 読 漢字の成り立ちに関心を持ち、漢字の理解を深めようとしている。 言 漢字の成り立ちについて理解し、練習問題の漢字を分類している。	
3	木は旅が好き	◎詩の中の言葉や表現を、作者の思いを想像しながら読み味わい、自分のものの見方や考え方を広げる。 読 詩の内容に興味をもって、作者の思いへのイメージを膨らませようとしている。 言 作者が「木」に託した思いを、詩の中の言葉を手がかりに想像している。 言 反復や比喩などの表現技法に気づいている。	

140

【評価の観点・方法】

1. 国語への関心・意欲・態度 …… 課題への取り組み方、授業への参加の姿勢、提出物などで評価します。
2. 話す・聞く能力 …… 目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり、話の内容を的確にききとっているかで評価します。
3. 書く能力 …… 作文・ノートを通して、読みやすく、わかりやすい文章を書いているか評価します。
4. 読む能力 …… 様々な文章を読み、その構成・展開をとらえているかで評価します。
5. 言語についての知識・理解・技能 …… 文法・漢字テストなどを中心に評価します。

書写では文字を正しく整えて丁寧に書くことができるかで評価します。